

らく さい 楽西 第115号

平成28年1月10日発行

発行者

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町1-67

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

TEL 075-333-0171 FAX 075-333-0172

Eメール info@kyo-ssc.com

URL <http://www.kyo-ssc.com/>

あけましておめでとうございます

今年も当法人へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます



デンマークの教育

私がデンマークの福祉、教育などを研究してきた経験から、前号に引き続きデンマークについて、特に今回は教育について紹介したいと思います。

デンマークの教育制度は幼稚園（3～5歳）、修学前教育（6歳）があり、国民学校（7～16歳）という日本の小・中学を合わせた義務教育のあとは高校（17～19歳）、大学（20歳から）へと移ります。

デンマークは職業教育が盛んで、職業別の専門学校や大学などが多種多様にあります。というのは仕事に就くにはそれにふさわしい資格が必要だからです。日本はどちらかというと学歴が重視され、一流企業に就職するためには一流大学に入学し、将来の仕事は大学に入ってから考えるという傾向があります。日本で学歴が重視されるのは将来の収入が学歴で決まるような学歴社会だからで、その点デンマークは日本と違って学歴よりも資格重視の資格社会であるといえます。

デンマークでは個人の自由を保障し、一人一人の自己決定、生き方などを尊重することが社会理念となっています。従って、どのような教育や職業を選択するかは個人の自己決定として尊重されています。そのため、どの大学を出たか、どんな会社に就職したかはあまり重要ではなく、むしろ仕事の中でやりがいと希望を見だし、自己実現できているのが重視されます。

デンマークで私が訪問した国民学校の教頭先生が、「この国では学校の成績や学歴で子どもを評価することはしない。大人になってどんな仕事に就いたかというよりも、その仕事にどれだけ喜びと誇りを持って取り組んでいるかということに価値を置いている」と語った言葉が今も記憶に残ります。

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

理事長 野村 武夫

後援会だより

あけましておめでとうございます

2016（平成 28）年が皆様にとって、お健やかで平和な一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本法人にとって、今年度は本体の事業所である「洛西寮」が、創立 30 周年の節目の年として、「いつまでも働き続けられる事業所」、「安心して暮らすことのできる事業所」を目指して、地域と共に成長することを目標にして歩んでまいりました。

9 月には、洛西寮まつりの中で、地域の 4 施設とのコラボ企画による出店を通じて大きな成果を収めることができました。

また、11 月には、「洛西寮を多くの市民に知ってもらおう」を合言葉に、「洛西寮オープンデー」を行いました。ボランティアの方々の絶大なご支援で物品提供などをしていただき、地域の方々の集客を期待しましたが、やや取り組みの不十分さなどから多くの反省材料を次年度に残す結果となりました。

ただ、施設が地域に打って出るチャレンジの気運に刺激となったことは事実で、これからの取り組みへの第 1 歩が築かれた 1 年となりました。

また、新年早々の 1 月には、施設利用者の強い要望に応じて「洛西寮創立 30 周年記念祝賀会」をパーティー形式で近隣のホテル京都エミナースで開催いたします。

これらの事業を通じて、利用者・家族、役職員、ボランティア、そして OB の利用者・職員と共に、この大切な記念の年をばねにして飛躍のきっかけにできたらと願っています。

最後に、永年お世話になりました、中川順子後援会長の退任を受け継ぎ、年度途中から私、眼科医をしております、^{なかじゆたか}中路 裕 が後援会長として大役を受け継ぐこととなりました。前任者の中川会長に引き続き、何とぞよろしくお願いいたします。

本年も、後援会の運営にさらなるご支援、ご協力賜われますよう、お願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

京都視覚障害者支援センター
後援会 会長 中路 裕

情報交差点

— 障害者週間 12月3～9日 — 門川市長が来所されました

12月3日（木）は、朝から雨模様、門川市長が来られる頃には雨も上がっていました。

洛西寮の説明では、今年が創立30周年であること、課題としては、老朽化した建物の改築と夜間支援の人員確保などを聞いていただきました。



施設内の見学では、京都市の助成金で完成したばかりの個室を見ていただき、メインの作業場へと。

ちくりんでは、八つ橋の箱作りの体験、らくさい作業所では、京都市の『市民しんぶん 点字版』の印刷作業を見ていただき、利用者を交えて写真撮影をしました。



その後、場所をらくさい治療院へ移し、就労継続支援A型事業所として京都府内で3本の指に数えられる実績を上げている治療院を見ていただきました。

最後に、利用者を交えて、市長さんを囲む場を作り、ここでも写真撮影をして1時間の施設訪問を終了しました。



事業所便り

就労継続支援B型事業所 らくさい作業所

「おはようございます。今日の予定は・・・」

午前9時30分、らくさい作業所で毎朝行われる朝礼は、利用者さんが順番に担当している当番制です。今日の予定や申し送り、作業だんどり等を伝え、作業が始まります。

「・・・以上です。今日も一日よろしくお祈りします！」 「おねがいします！！」

毎朝、このかけ声で気持ちが引き締まります。

らくさい作業所では大きく3つの作業があります。

点字

縫製

数珠

今回は、**点字印刷**についてご説明しましょう♪

現在、「市民しんぶん」「区民しんぶん」「市会だより」などの京都市の広報紙を請け負っています。

作業工程は、以下のとおりです。利用者さんの声つきでお伝えします。

- ①データ作成（職員の仕事）
- ②校正（誤字脱字、間違いがないかチェックする）
→難しさもあるけど頑張っています
- ③製版（元となる版を作ります）
→ひとつひとつ手に取る人のことを考えて作業しています
- ④再校正（印刷前の最終チェック）
→きちっと間違いを探せるように頑張ります
- ⑤印刷（印刷機4台使用。毎月約700部印刷します）
→うまくできるようになりました
- ⑥発送（ホッチキスの部分にシールを貼り封入）
→失敗せず綺麗に貼るのが大変です



以上、**点字印刷**よりお伝えいたしました～！！

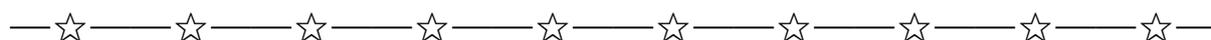
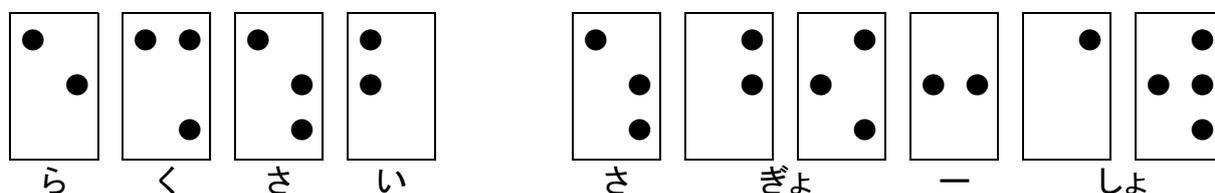
＊ ＊ランチ会と忘年会をしたよ ＊ ＊

レクリエーション委員が中心となって、

★10月19日（月）ファミリーレストランで
ランチ会

★12月15日（火）串カツ屋で忘年会
をしました。

いつもとはまた違う皆さんの美味しい顔が
垣間見られました。



■ □ ■ グリコピア神戸工場見学（ちくりん） ■ □ ■

11月18日（水）利用者20名、ボランティア・実習生・職員総勢32名で日帰りレクリエーションとして兵庫県にあるグリコピア神戸工場見学に行ってきました。工場見学ではオリジナルアニメーションが立体映像で楽しめる「3Dシアター」やグリコの歴史など楽しいコーナーがいっぱいあり、楽し



みながらお菓子食文化の世界を見て、知って、学んできました。また、実際にポッキーを作っている所を見学しました。昼食は地元のオシャレなデリバリーで照り焼きハンバーグパニーニセット、カフェ弁当、野菜炒め弁当を注文し、みんなでワイワイしながら食べ、とても美味しかったです。

お土産もいっぱい買い、帰り際にはグリコのお菓子のお土産を頂き、利用者・ボランティア・職員の交流を含め日々の作業の疲れを癒やし、リフレッシュ出来た楽しい1日を過ごしました。

こんな話！あんな話！

■□■「第30回 洛西寮まつり」■□■

「第30回 洛西寮まつり」を9月5日に開催しました。

- **オープニングのテープカット** 野村理事長、田尻所長、みやびワイズメンズ代表者で行なわれ、多くの地域住民、関係者の方に見守られながら開催宣言をしました。
- **1階** 模擬店やゲーム、製品販売、視覚障害体験や機器紹介コーナー。
- **4階** 利用者の自治会である「洛友会」の合唱、バンド演奏、お笑い、アフリカ音楽のイベント。西京区の施設による製品販売、今回初めての利用者家族によるバザー販売。
- **らくさい治療院** マッサージ無料体験コーナー。



例年の夏場の開催時期をずらしたため来場者数を心配しましたが、天候も良く過ごしやすい気持ちの良い1日となり、飲食関係も早い時間帯に売り切れる程で、前回より多い約400名の方に参加していただきました。

利用者家族、ボランティアを始めとした協力関係者様の支援のおかげで、30回目の記念となる洛西寮まつりを無事に終えることができました。

今年もよりよい企画を考えていきますので、よろしくお願いします。

—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—☆—

■□■ 洛西寮オープナー（洛西寮30周年記念事業） ■□■

洛西寮を継続的に発信できるよう企画し、より『知ってもらうこと』を掲げ、11月7日（土）に開催しました。

利用者全員で『洛西寮の歌』の合唱、各事業所の活動報告を利用者自身の声で発表、登録ボランティアによる活動報告、また、会場ではボランティアによるバザー販売や施設の自主製品販売、作業実演&体験コーナー等で賑わいました。

毎年恒例の『洛西寮まつり』とは別に、新たな継続的イベントとして洛西寮を発信し続けて行けたらと思います。



ボランティア活動コーナー

■□■ 美鈴「船岡スタンダードに参加しました！」 ■□■

11月7日、私達美鈴(糸数部長、鬼塚指導員、利用者6人)は、船岡スタンダードに参加しました。船岡スタンダードとは、北区の障害者施設の方々が集まり、日頃の活動の成果を発表する場で、毎年11月に船岡山公園で行われているお祭りです。

美鈴もその一員となり、500円で15分のクイックマッサージをさせて頂き、今回は32の方が受けて下さいました。マッサージを受けるのは初めてで興味をもって来て下さった方、日常生活で起こる疲労の回復に来られた方など様々で、お一人お一人から「目が見やすくなった」、「腕が軽くなった」などと笑顔の声を聞く事が出来て、とても嬉しく思いました。中にはこのイベントに参加された後、美鈴に来院して下さいました方もおられます。美鈴以外の施設の皆さんの歌やダンス、和太鼓などの様々な発表も聴かせて頂く事が出来、一生懸命な素直で優しいハーモニーに元気をもらえました。

今回、私の付き添いで母も参加し、模擬店でお菓子や小物入れなど、手作りの商品を沢山買わせて頂きました。中でも、かぼちゃのクッキーはとても美味でした。母は初めて参加しましたが、このような地域の人が集まるイベントが地元の岡山にはない為、とても感動しており、今後もぜひ参加したいと言っておりました。(伊達)

—☆——☆——☆——☆——☆——☆——☆——☆——☆——☆——

■ 朗読ボランティア・洛友会合同企画クリスマス会・茶話会 ■

12月4日(金)に毎年恒例の朗読ボランティア・洛友会合同企画のクリスマス会を行いました。

皆が楽しみにしているクリスマス会。何度も会議を重ねて当日を迎えました。

ボランティアコーナーでは、朗読ボランティアによる朗読劇を楽しみ、洛友会コーナーでは、役員考案のいろいろなゲームに皆で一喜一憂して楽しみました。

音楽の先生のピアノ演奏にも心癒やされ、とても楽しいクリスマスらしいひとときとなりました。

たくさんのボランティアの皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。



【 新人利用者紹介 】

ちくりん

★ 河野 健人 さん ★

9月28日からお世話になっております、河野です。私の好きな物は、鉄道と桜塚やっくんです。いろいろと、迷惑をかけることもあるでしょうが、どうぞよろしくお願いします。



らくさい治療院

★ 齋田 律子 さん ★

11月より、らくさい治療院でお世話になっております、齋田律子です。らくさい治療院の皆様の親切で温かいご指導や、小林所長や山下指導員のご指導により毎日技術を学んでいます。一日も早く治療院内のことを覚えて、患者さんのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。



【 職員の異動 】

	日付	氏名	所属
採用	10月19日	日野 加代子	らくさい作業所 生活支援員 (木下産休代替)

【 ご寄附・ご寄贈 】

7～12月 (五十音順・敬称略)

以下の方々より、ご寄附・ご寄贈を頂戴いたしました。
ありがとうございました。

ご寄附 (13件・合計656,130円)

梅原徹也・大芝幸雄・片山千恵子・鍵田武彦・川本千春
鈴木綾・すこやかクラブ西京・瀬尾秀樹・平井多津子
平野元子・伏見稲荷大社附属講務本庁・古川幸隆・森稜子



洛西ボランティア友の会様
空気清浄機2台

ご寄贈 (23件)

秋田ひろし・荒川尚次・荒川義人・出原恵子・今北よしこ
大嶋敏光・京都青果協会・京都リサーチパーク (株)・鈴木綾
(株) 朱常分店・生命の貯蓄体操・高栖淳・田中美恵
富奥ケイコ・中尾明美・中島典子・西牟田さち子・三好和夫
平井多津子・帆本澄枝・安田隆・弓矢トメ子
洛西ボランティア友の会



はじまるくんパソコン
京都リサーチパーク株式会社様

♪ 編集後記 ♪

あけましておめでとうございます。皆さまと共に洛西寮創立30周年の新春を迎えることができましたことに感謝いたします。申年は「去る」を意味し、「悪いことが去る」「病が去る」「病に勝る」など幸せを運ぶものとする説があり大変縁起の良い年です。仕事においても勝ることができるように、職員一丸となって突き進んでいきたいと思います。(北)